

移行対象と移行現象 (1951)

『遊ぶことと現実』 訳：橋本雅雄

『小児医学から精神分析へ—ウィニコット臨床論文集—』 訳：北山修

【論文の背景】

1935年～1941年 Klein の SV を受ける

1940年初期 Freud・Klein 派論争

→Winnicott は Klein 派、A. Freud に続く派、どちらにも属さず、中間に属す。

1951『移行対象と移行現象』を出版 →Klein と Winnicott の決別

→A. Freud の「自我と防衛」の外的現実との適応面 に注目した議論と、

Klein の「母親の乳房」という内的幻想的側面 の橋渡しをしようとしていた。

⇒2人の女性の橋渡しをしながら、自分のパーソナルな領域を作っていた

・『遊ぶことと現実』の中で、上記の理論を発展させ発表

『ウィニコット書簡集』 E.ロバート・ドックマン 監訳：北山修・妙木浩之

I 基本的仮説

乳幼児が生後間もなく、指などを使い口唇快感領域を満足させることと、生後 2~3 ヶ月頃に人形と遊ぶのを好み、特別な対象に夢中になるということの間には相関関係がある。

1) 最初の所有物

・生後間もない赤ん坊が“最初の^{じぶん}我でない所有物”(Not-Me-possession)を使う方法は様々なパターンで現れる

Ex) 握りこぶしを口に入れる行動→テディベア→やわらかい玩具→固い玩具等への愛着へ

※親指とテディベアの間、恩を受けていることに気付かない原初的段階と受けていることに感謝する段階、などの間にある体験の中間領域 (intermediate area of experience) を 移行対象・移行現象 (transitional object / transitional phenomena) と呼んだ。

⇒①最初の所有物について、②主観的なものと客観的に知覚されるものとの間の中間領域 (=幻想・錯覚の領域) を重視。

*個人的パターンの発達

◎真の“^{じぶん}我ではない”対象を扱えるようになるまでの進展について

*移行現象

- ・幼児側から自分以外の対象を個人パターンに織り込んでいく傾向が現れる
- ・指しゃぶりの様な自体愛的体験と組み合わせたり、機能的体験 (ex1: シーツや毛布をつかみ指と一緒に口へ入れる、ex2: “mum-mum”・喃語などを伴い、口をもぐもぐさせる) が見られ、考えることや空想することが結びついてくる

*移行対象

- ・毛布などの端、単語や歌、クセなどの事物や、現象等が出現
- ⇒幼児にとって、寝付くまでのための非常に重要であったり、抑うつ不安に対する防衛であったりする。ある柔らかな対象などを使用するようになり、重要性を持ち続ける。
- ・その価値を見出し、母はそれが汚れても洗わないように配慮するようになる。もし洗ったら幼児の体験の連続性に中断が起こり、その対象が幼児に対して持つ意味と価値を破壊してしまう中断を生じさせる。
- ⇒移行現象のパターンは、生後4カ月、6ヶ月、8ヶ月、12ヶ月まで出現。

- *健全な発達の場合：移行対象は“内側に入る”こともないし、それに対する感情が抑圧される必要もない。忘れられることも、悲しまれることもなく、意味を失う。移行対象は、拡散し、“内的心的現実”と“2人の個人に共通に知覚される外的世界”の間の中間領域全体に広がっていく。子どもの関心は拡大し、抑うつ不安時でも拡大した関心の範囲は維持される。
- ⇒男子は堅い対象物を使うのが上手くなり、女子は人形で1つの家族をつくっていく傾向がある ※最初の“我^{じぶん}でない”所有物の使い方に際立った男女差はない
- ・移行対象につけられる名前には、大人が使った単語が部分的に混入している。
Ex) “baa”が名前の場合、大人が使った“baby”等の単語に由来している場合がある
- ⇒愛情はく奪におびやかされたりすると、最早期に始まった特定の対象や行動パターンが再び必要になることがある。
- ・母親意外に移行対象の無い場合や、幼児の情緒発達がひどく障害され、移行的状態を享受できなかったり、使われる対象物の連続性が絶たれたりする場合もある

*移行対象と象徴性 (symbolism) との関係

- ・一枚の毛布が乳房の象徴であることは確かだが、毛布の特質はその象徴的価値よりも実存性にある。毛布は現実に乳房や母親でないが、そうでないという事実は、毛布が乳房や母親を意味していることと同じくらい重要
- ・幼児が象徴性を使う時、空想と現実、内的対象と外的対象、原初的創造性と知覚を明確に区別している。移行対象は、その違いと共通性を受け入れていく過程に重要。

臨床例) 所有物の早期の使用に関する比較：移行対象の使用が歪曲した兄と、典型的な使用をした弟

- 兄) 生後7カ月まで母乳で、離乳は困難。母に対して非常に強い愛着を持ち、指しゃぶりをせず、哺乳瓶やおしゃぶりを受けつけず、離乳時“頼るものがなかった”。同時期喘息に。12カ月時に、ウサギのぬいぐるみ→本物のウサギへ愛着(5、6歳まで)。ウサギ=元気づけるもの(comforter)だったものの、移行対象とはならず⇒真の移行対象は、常に幼児と不可分な幼児の一部であり、Moより重要であるはず
- 弟) 生後4カ月まで母乳。生後間もなく指しゃぶりがあり、容易に離乳。

その後、毛布の端“baa”→セーターへ。=落ち着かせるもの(soother) ※典型的な移行対象

◎生育歴聴取の重要性（親の相談時）

子ども全員の早期所有物と技巧について情報を得ることが重要（比較すると想起しやすい）

- ・子どもは移行対象を覚えていて語ることも。移行対象の性質や行動を述べる時、現実感覚を失っているかのように喋る。

2) 理論的考察

◎移行対象と Klein の内的対象(internal object)の比較

- ・移行対象＝心的概念である内的対象でも、外的対象でもなく、所有物
- ・移行対象を用いられるのは
 - ・内的対象が生き生きとして、現実性を持ち、good enough な（迫害的すぎない）場合。内的対象の質は、外的対象（乳房、母的人物、環境からのケア）の存続、活動性、態度に左右される。
 - ・外的対象の本質的な機能が不十分であると、間接的に内的対象は死の状態に陥るか迫害的な質を帯びる→この状態が長く続くと、内的対象が意味のないものになり、移行対象も無意味なものになる。

*幻想—幻滅（錯覚—脱錯覚）

- ・幼児が快樂原則から現実原則へ進むためには、ほどよい母親（good enough mother）が不可欠。ほどよい母親は、幼児のニーズに対して積極的にほぼ完全に適応し、時間経過に伴い、幼児が母親の不在に対処する能力が増大するのに応じて、徐々に適応の完全さを減らしていく。

《幼児が母親の不在に対処する手段》

- ① 母親の不在による欲求不満は時間が限られていることを体験
- ② 時間の経過についての感覚の増大
- ③ 精神的活動性の開始
- ④ 自体愛的満足の利用（→移行現象に？）
- ⑤ 思い出す、追体験する、空想する、夢を見る→過去、現在、未来の統合を可能に。

⇒ “全てが順調なら”、欲求への適応を不完全にすることが、対象を愛されながら同時に憎まれるものにして、対象を現実的なものにする。逆に、適応が長すぎ、自然に減らされないと、それにより幼児は障害を受ける。（完全な適応は魔術的で、幻覚にすぎない）

- ・適応は、最初は正確である必要がある→外的現実との関係を体験する能力や、外的現実についての概念を形成する能力の発達を開始できない

*幻想（錯覚）とその価値

- ・母親は初期には幼児の要求にほぼ 100%適応し、乳房は幼児の一部という幻想を与える。
⇒最終的に幼児を徐々に幻滅させる（断乳）が目指されるが、そのためには、初めに幻想を持たせる機会を十分に与える必要がある。幼児の中で、乳房は繰り返し創り出され、主観的現実として発達。

※**中間領域**=原初的創造性と、客観的知覚との間に持っている認められる領域

⇒生まれた時からこの関係性について十分に着手されないと、その問題を解決する際に健全でなくなる。

※発達に早期に、母親によって供給されたある確かな状況に置かれた幼児は、本能的緊張から拡大していく欲求を何か必ず満たしてくれると考えることができるように。

・欲求への母親の適応がよい場合、幼児は自分の創造能力に対応する外的現実があるという**幻想**を持って、供給するものと、幼児の考えが重なる。

※移行対象・移行現象のおかげで、個人にとって重要な意味を持つ“正当性を問われない**体験の中立領域**” (a neutral area of experience) との関わりを、人間は個々に始められる。

※幻想を幻滅させる過程の中で、離乳により欲求不満が登場する。離乳をめぐる現象 (Kleinの抑うつポジション) において、幻想と、徐々に幻滅の機会が与えられている。

・幻想—幻滅がうまくいかないと、幼児は離乳を達成できず、離乳へ反応することや、言及することもできなくなる。

幻想—幻滅 (錯覚—脱錯覚) 理論の発展

*現実受容という作業は完結することではなく、内的現実と外的現実を関連させる重荷から解放されることはない。⇒**体験の中間領域がその重荷を軽減する。**

→芸術や宗教や、遊びに夢中になる子どもの遊びの領域と直結している。

→幼児期の中間領域は、子どもと世界との関係の習得にとって不可欠

⇒中間領域は、早期の危機的な時期に、“ほどよい母親”の養育を受けることで存在可能に。

※外的な情緒的環境と、移行対象などの物質的環境の特定の要素の時間的・連続性が重要

*成人が、主観的現象の客観性を認めるよう求めたら、狂気として理解される。しかし、個人的中間領域を楽しみ、互いの中間領域が重なることを発見して嬉しく感じ、芸術などのグループのメンバー間の共有体験に。

要約

・体験の中間領域は、内的現実と外的現実のどちらに属するかを問わず、幼児の体験の大部分を占める。そして、生涯を通じて、芸術、想像力に富んだ生活などに集中的体験の中に保存されていく。

・逆説が受け入れられることが肯定的な価値を持ちうる。

逆説を解決することが、成人の中に真の自己組織と防衛組織を形成させる。

II 理論の応用

◎移行現象の領域に示される精神病理

*分離が移行現象に与える影響について

母親が不在でも、母親の心的イメージなど、内的表象を持っていれば幼児が即座に変化することはない。しかし、記憶や内的表象が希薄化になると、移行現象は意味を失い、それを体験できなくなる。その喪失の直前、移行対象が意味を失う恐れを否認するために、移行対象を過剰に使用する例がある。

臨床例【紐】 性格障害を思わせる症状がある、7歳の少年。

- ・Moは抑うつ的で、妹の誕生やMoの入院により3度分離を経験（3.3歳～4.9歳）。
→物や人をなめる強迫思考、排便の拒否などの症状出現
 - ・面接でスクイグルを実施したところ、線が全て“紐”に関連したものに。現実場面では、物を紐で結ぶことに夢中で、部屋の物を紐で縛ったり、妹の首に紐を結んだりしていた。
 - ・「紐を使って、分離を否認する試みをして分離の恐怖を処理しているのでは？」とMoに問い、Moと少年の間で分離のテーマが扱われると症状は消失。Moは「子どもが母親を喪失し、最も重要な分離は、重篤なうつ状態になっている時。物理的に離れていることでなく、他の事柄に気を奪われ、接触が欠けてしまうこと」と考察。
 - ・11歳時：沢山のテディベアを家族のように大切に母のように愛情を注ぎ、安心感を得ているように。
→母親との関係の不安定さに基づいた、母親同一化を持ち、同性愛や紐への倒錯的熱中への発展の可能性が考えられた。
- ⇒紐はコミュニケーション技術の延長とみなすことができる。紐の過剰な使用は、不安定感の始まりや、コミュニケーションの欠如を表すと考えられる。→分離の否認に変化していくという見解に。

III 臨床素材：ファンタズ fantas の種々の様相

*両親の不在時に子どもが経験する徐々に進んでいく欠乏と関連しているケース。

- ・母親が次の子を産むために子どもから離れていく時、子どもに理解させることができない場合、ある一定の時間を越えると、子どもから見れば母親は死んだことを意味する。
→その間に貴重な一瞬な怒りがある。消失するか、暴力への恐怖をはらみながら潜在する死には、①母親が目の前にいるときの死、②母親が再び生き返らない時の死 が存在する
→再確認しなくても内的心的現実の中で人を生かしておける能力を子どもが創り上げる以前の時期に関係

臨床例【分裂性格的な成人女性との1セッション】

抑うつ的な夢を見、空想することにおそわれる。女性は、11歳時に疎開し、自分の幼児期と両親を完全に忘れ、世話してくれる人達を“どのような呼び方もせず”“すませた。それは、両親を思い出すことの拒否だった。彼女には、部分的な記憶喪失があり、姿も思い出せない前Drや、そこにはない毛布により現実感を感じていた。→“そこにはないものこそが現実的”と考えられた。背景には、母親の献身と信頼性が非現実的で現実性に疑いがあった。そのため、移行対象よりも母親の不在の方が現実的だった。

【感想・考察・疑問点】

- 全体的に難解で、飲み込み切れず、特に幻想・幻滅については皆さんがどう読み取られたかが知りたいです。
- P7の「移行対象は“内側に入る”こともない」とは？P15の「乳房は魔術的統制下にある。…全能感とは実際の体験に近いものである」とは？どのようなことを意味しているのか？
⇒乳幼児期の経験を忘れていない人の世界＝精神病の世界と聞いたことがある。が、魔術的世界から抜け出せない状態が、病的な状態につながる？
- 最初の所有物で語られている“移行対象”“中間領域”と幻想で語られている“移行対象”“中立領域”は異なるのか？前者は実際の物でもあり、後者はより内的なもの？？断乳のプロセスのために移行対象が存在することの重要さは理解できたが、幻想がどのように中立領域へ変化していくのだろうか。
- 「成人して、個人的中間領域を楽しみ、互いの中間領域が重なることを発見して嬉しく感じ、芸術などのグループのメンバー間の共有体験に」
⇒“趣味”は中間領域になりうるのか？と連想。特定のゲームや漫画のキャラクターなどに没頭する様子が浮かんだ。時に“趣味がない”と話す子は？